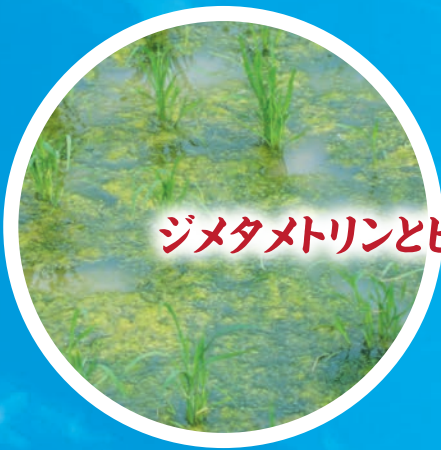




初期除草剤

# 先陣<sup>®</sup>

1キロ粒剤  
ジャンボ  
200FG



ジメタメトリンとピラクロニルで藻類・表層はく離の発生を抑えます。

幅広い草種に素早く効きます!

田植同時処理

※1キロ粒剤のみ

**OK!**

初期  
除草剤

# 先陣<sup>®</sup>

初期  
除草剤

# 先陣<sup>®</sup>

藻類・表層はく離に  
高い効果

省力散布

初期  
除草剤

# 先陣<sup>®</sup>

幅広い草種  
に効果あり



初期除草剤

先陣

1キロ粒剤  
ジャンボ  
200FG

# 特長

- ① 藻類・表層はく離に高い効果を示します。
- ② 幅広い草種に効果を示します。
- ③ ピラクロニルにより、非常に速く効果を発現します。
- ④ 省力散布が可能です。

## 適用雑草の範囲及び使用方法

実際の散布にあたっては散布適期・葉齢など現地の指導要綱に沿ってご使用ください。

**先陣 1キロ粒剤** ■農林水産省登録 第24803号 ■有効成分(一般名):ジメタメトリン0.30%、ピラクロニル1.5% ■毒性:普通物\*

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ウリカワ ヒルムシロ、オモダカ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	1kg/10a	本剤 1回 ジメタメトリン剤 2回 ピラクロニル剤 2回	田植同時散布機 で施用
		植代後～移植7日前 又は 移植直後～ノビエ1葉期 ただし、 移植後30日まで			湛水散布 又は 無人航空機による 散布

雑草名	散布適期
ノビエ	1葉期 まで

**先陣 ジャンボ** ■農林水産省登録 第24691号 ■有効成分(一般名):ジメタメトリン1.5%、ピラクロニル7.5% ■毒性:普通物\*

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ オモダカ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	植代後～ 移植7日前 又は 移植直後～ ノビエ1葉期 ただし、 移植後 30日まで	小包装 (パック) 10個 (200g) /10a	本剤 1回 ジメタメトリン剤 2回 ピラクロニル剤 2回	水田に 小包装(パック) のまま 投げ入れる

雑草名	散布適期
ノビエ	1葉期 まで
ホタルイ	発生始期 まで
ウリカワ	発生始期 まで
ミズガヤツリ <sup>※</sup>	発生始期 まで
ヒルムシロ	発生始期 まで
コウキヤガラ	発生始期 まで
ミズアオイ	発生始期 まで

**先陣 200FG** ■農林水産省登録 第24692号 ■有効成分(一般名):ジメタメトリン1.5%、ピラクロニル7.5% ■毒性:普通物\*

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数	使用方法
移植 水稻	一年生雑草 マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ オモダカ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	植代後～ 移植7日前 又は 移植直後～ ノビエ1葉期 ただし、 移植後 30日まで	200g /10a	本剤 1回 ジメタメトリン剤 2回 ピラクロニル剤 2回	湛水散布、 湛水周縁散布、 水口施用 又は 無人航空機散布

雑草名	散布適期
ヘラオモダカ	発生前 まで
オモダカ	発生前 まで
アオミドロ・藻類 による 表層はく離	発生始期 まで

\*毒物及び劇物に該当しないものを指すという通称

※1キロ粒剤除く

### △ 使用上の注意事項 (抜粋)

#### 【3剤型に共通する注意事項】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの1葉期までに時期を失ないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果に差が出るので、必ず適期に使用するようご注意ください。オモダカ、コウキヤガラは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 本剤使用後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、使用後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業及び植え付けはいいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にいいに行ってください。
- 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(湛水深2cm/日以上)では、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 除草効果が低下するおそれがあるため、著しい降雨が予想される場合には使用を控えてください。
- 本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用の場合は、十分注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤使用後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しない

よう注意して使用してください。  
●散布後は水管理に注意してください。

#### 【1キロ粒剤、FGに共通する注意事項】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 無人航空機による散布を使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布器具及び洗浄水は河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

#### 【ジャンボ、FGに共通する注意事項】

- 葉や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので使用をさけてください。

#### 【1キロ粒剤の注意事項】

- 使用に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(3～5cm)で均一に散布してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

#### 【ジャンボの注意事項】

- 使用に当たっては、水の出入りを止め5～6cmの湛水状態に保ってください。
- 本剤は小包装(パック)のまま、10アル当たり10個の割合で水田に投げ入れてください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨

で破袋することがないようにしてください。

- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意してください。  
①眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。  
②皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落してください。  
③かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、子供の手のとどかないなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。
- 水溶性フィルムは吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を閉じて保管してください。また、強く加圧されると水溶性フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないようにしてください。
- 空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

#### 【FGの注意事項】

- 使用に当たっては、水尻を止め5～6cmの湛水状態に保ってください。なお、水口施用の場合は、あらかじめ田面が露出していないよう水深を確認した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態に達したときに必ず水を止め、田面水がふれぬよう注意してください。水口に対して向かい風が吹いている場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため水口施用はさけてください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布の際は保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。

※本資料の記載内容は2024年10月現在の登録内容に基づいています。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。●空袋・空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

# ホクサン株式会社

技術普及課 | 〒061-1111 北広島市北の里27番地4  
TEL(011)370-2280 FAX(011)370-2113